

＊4月4日、丁度サクラ満開の吉日、新たに7名の仲間を迎えて本年度の科の活動が開始されました。第2回目の活動は、一般コース（高槻・塚脇バス停～三好山～摂津峡～）と楽々コース（上の口から、摂津峡～塚脇バス停）の2つのコースに分かれての観察会でした。一般コースについては、分かりませんが楽々コースは上の口から、森林のマント群落植生＋植栽樹等、及び摂津峡の樹木や野草の植生をワイワイ・ガヤガヤと文字通り「**楽**に歩き、観察を**楽**しむ」一日でした。

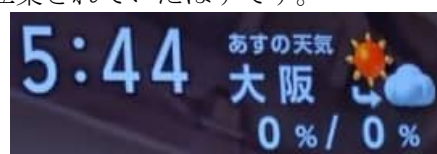
・ただ、この観察会の開催に関しては問題点も多かったのではないのでしょうか？

年初であり、思うところを述べておきます。

＊帰りのバスの超満員状態は論外。途中バス停で乗車をあきらめた方があったのをご存じですか？

当初計画では路線バスですので、楽々・及び班ごと分散するよう立案されていたはずですが。

＊当日の朝は地域によって降雨があった。実施・中止基準は前日の午後5時の予報を基準。当日は曇りから晴となったから良いものの・・・なぜ、より正確な当日の**午前5時**の当日の午前／午後の気象予報を採用しないのでしょうか？（なお、基礎講座は後者の基準で案内済み。）



前日の気象庁午後5時発表の予報はNHKTV・BS午後5時～6時のニュース番組で左上に右のように表示されますが以降は表示されません。調べたければ当科HPかネット検索するしかありません。一方、当日の気象庁、午前5時発表の6～12／12～18の予報は上と同様「今日の天気」として5時から7時のニュースの時間まで表示され、誰でも家を出る前には知ることができるのです。

＊スマホの活用・・・天候について、Yahooで「NHK・ニュース・防災・アプリ」を入力すると、スマホへの入力画面が出てきます。次ページにQR（機種別）コードが出てくるので、これをスマホで読み込めば良いだけです。得られたスマホ画面の下方の欄から「天気予報」をタッチすると予報画面が出ます。上方の地域欄で「地域を設定」で住居地、或いは「目的地」を入れクリックすると地域の「今日明日の天気予報・最低・最高気温及び6時間ごとの降水確率」、さらに当日の1時間ごとの天気・気温・降水量・風（今日・明日）さらに、週間天気予報が表示されます。

また、マップをクリックすると雨雲に関する情報を知ることができます。現在から6時間後までの雨雲の強さ？と動き・・・を見ることができます。（当日12時ごろ摂津市付近に雨雲検知、東方へ移動予知）

（なお、NHKでは気象業務法に基づく気象予報業務許可を受けておらず、独自の予報を行っていない。このため「気象情報」では原則として気象庁の予報をそのまま放送し、気象庁が十分にカバーしていない細かいポイント予報などについては日本気象協会や民間気象会社の情報を補完的に使用しています。）

＊参考：スマホの写真機能の利用（他科では講習会等をもち実施済み。）

＊スマホの写真機能、得られた「画像」の利用法・・・既に利用されている方もありますが・。

- ・記録写真・最近の機種ではワイド（0.5）から5倍、8倍、中には15倍までの望遠機能さらに、切り取りや、明度などの補正などの編集機能が入っています。本報の画像は3年前からスマホ画像のみ。
- ・写真の機能で5倍、8倍機能で望遠、ルーペ代替が可能。撮影画像の拡大で実体顕微鏡代替可能。観察会などでは上記で得られた画像を提示し参加者と共有します。（ルーペなど不要です！）
- ・画像から「Google レンズ」による種名検索が可能です。「Google レンズ」のダウンロードは必要。
- ・共用・・・Line、Mail等に画像転送。他者との共有が可能となります。

＊4月11日の画像例。(1～1.5m、望遠機能)



＊画像から「レンズ」検索例

右の画像は、林間の落ち葉の中から顔を出していた植物。種名など知らず、早速「レンズ」で検索の結果、一目で・・・常緑のシダ、ヒカゲノカヅラ科のトウゲシバとでました。

シダをよく知る人に聞いたところ間違いのないとのこと。さらに、このシダは、中国では脳機能の低下、アルツハイマーの治療用に認められているとの記述も出て来ました。有り難いシダなのですね。



＊Google Earth Pro. の活用

これも、Yahoo などから無料でダウンロードできる優れたもの。私自身は10年以上前から使っているソフト。本シリーズでも、画像など紹介して来ています。また、科内で利用されている方もあります。

このソフトは年々画像が改訂されてきて、鳥観図ではこの辺りでは2023～2024年の画像に更新されています。鳥観図だけでなく、ストリート・ビューという項目があり、文字通り「道・道路」からの360度、上下方向の精密な画像が得られます。万博公園や京都植物園の園内の画像もあるが2013～18年と古い。ただし、山田池公園内の道からは2024年の画像が収録されています。さらに、2月28日に行われた武庫川廃線跡の名塩～武田尾間の画像は2025年1月収録画像が、武田尾の右岸・左岸については2025年2月の画像に改定されています。(例えば1月画像では、武庫川を左岸に渡ったすぐの長尾山第1トンネル出口から浸水広場までの区間が枕木の露出、大粒の砂利剥き出しの部分が多いことが分かりました。今回の摂津峡にも2023年8月の画像が部分的に入っていましたが・・・悪路部分欠落、夏場の風景で参考にはしませんでした。)

・本ソフトでは、日本に限らず一部の国を除き、鳥観図、ストリート・ビューを見ることができます。お試し下さい。

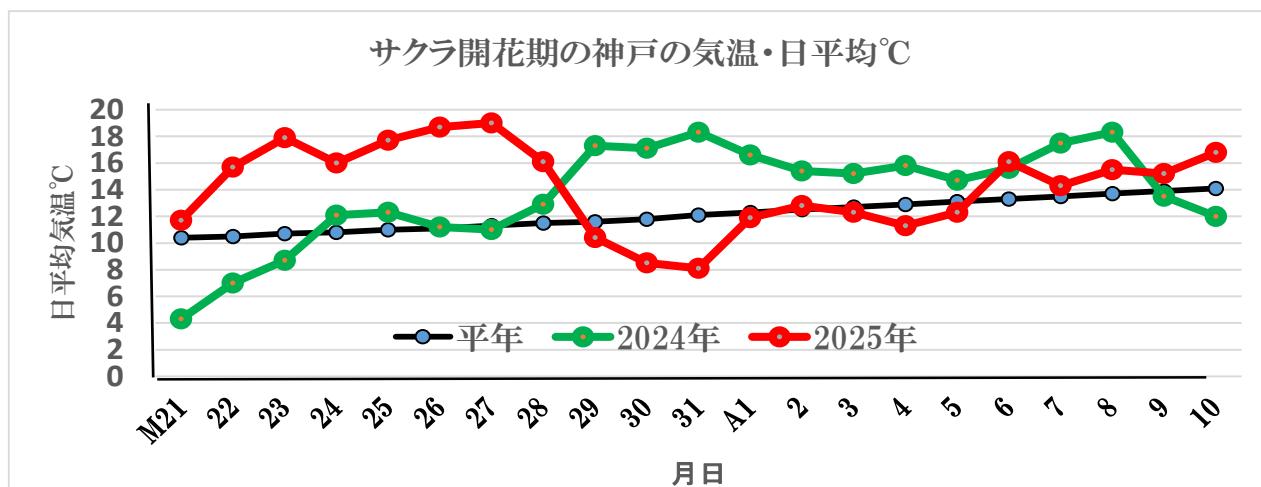
＊前書きが長くなりましたが、以下例によって最近の気象状況及び気象庁の発表した今後1ヶ月間の近畿圏の気象予報などから記述して行きます。

1. サクラ開花期の気温と今後1ヶ月の近畿圏の天気予報。

1-1. サクラ開花期の気温(神戸地方気象台発表)

前報では住居に近い神戸地方気象台の3月の気温の実況をグラフで表示しました。前報と一部重なり

ますが、気象庁・生物季節観測の対象種であるソメイヨシノの開花・満開日の季節に相当する3月21日から4月10日までの日平均気温を、平年及び昨年度と比較し表示しておきます。



・昨年度は3月の月末近く29日ごろから平年を大きく上回る暖かい日が続いたが、今年は去年とは逆に3月下旬は地域によっては夏日の出るほどの温暖な日続き、月末から4月上旬にかけての1週間は平年を下回る気温が続いた。このグラフには表示されないが、3月中旬ごろ以降20日ごろまでは平年を大きく下回る気温が続いて下旬に異常高温になったという経緯であった。前報でも記述したように、3月下旬には桜を始め、遅れていた春咲きの樹木の花々も一気に開花する事態となった。なお、降水量については3月は93mmと平年並みに回復、4月上旬は9mmと平年の1/4程度であったが、予報では以降は平年並みとされているので樹木の生き様などには影響しないであろう。展葉を始めたケヤキ(3/27)などの揚水痕(樹皮の剥がれ)なども昨年並みに認められました。



1-2. 近畿今後1ヶ月の天気予報 (気象庁4月11日発表)

向こう1か月の天候の見通し近畿地方 (4/12~5/11)

・向こう1か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、平年並か高いでしょう。

気温：低20 並40 高40% 平年並か高い見込み、

降水量・太平洋側： 少40 並30 多30% **ほぼ平年並**の見込み

週別予報

・1週目 (4/12~4/18) 天気は数日の周期で変わり、期間の前半は雲が広がりやすいですが、後半は晴れの日が多いでしょう。 気温：低20 並40 高40% 平年並か高い見込み

・2週目 (4/19~4/25) 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温：低20 並30 高50%高い見込み

・3~4週目 (4/26~5/9) 天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

気温：低30 並30 高40% ほぼ平年並みの見込み

以上ですが、長期は別として短期予報に関しては最近良くあたります。

参考として下さい。

2. 今年の近畿地方のソメイヨシノの開花日・満開日

次ページに、近畿6府県の今年のソメイヨシノ基準木の開花日と満開日（80%開花）の一覧表を示しておきます。平年比、昨年比については、遅かった日数、一で表記しているのは早かった日数です。

④近畿地区

府県 場所	開花日			満開日			花期	
	2025年	平年比	昨年比	2025年	平年比	昨年比	2025年	平年
大阪	3月27日	0	-3	4月4日	0	-2	9	9
京都	3月27日	1	-2	4月5日	1	0	10	10
兵庫・神戸	3月27日	0	-5	4月6日	1	-1	11	9
奈良	3月28日	0	-3	4月4日	0	-4	8	8
和歌山	3月26日	2	-4	3月30日	-4	-4	5	11
滋賀・彦根	4月4日	3	2	4月9日	1	0	6	9

・3月気温の長期予報では暖かくなるとのことでしたので、気象予報会社等は開花を平年より早めとしましたが・・・実際は3月初めから寒暖を繰り返す状況となり、直前には平年並みか遅れるとの予報でした。結果は上表の通りで和歌山・彦根を除いてほぼ平年なみの開花・満開日となりました。なお、サクラ前線は4月8日（平年より4日早い）山形まで北上しています。

3. 近所の「ソメイヨシノ」の開花・満開・花期

従来から近くの公園で観察して来ている「ソメイヨシノ」の開花日と満開日を記載しておきます。

- ・観察地：芦屋市翠ヶ丘町・翠ヶ丘公園（No.1, ）及び隣接空き地法面（No.3）
- ・樹勢区分 No.1 S 6mh 主幹地上3mで分岐・太い幹2本の強剪定あり
No.3 S 10mh 地上1mで2分岐、剪定無し、

観察標準木 No. 1 の開花・満開日

	開花日	満開日	花期
2021年	3月16日	3月26日	11日
2022年	3月23日	3月29日	7日
2023年	3月17日	3月26日	10日
2024年	3月28日	4月7日	11日
2025年	3月26日	4月4日	10日



No. 3 のサクラの開花・満開日

2021年	3月23日	4月2日	11日
2022年	3月25日	4月2日	9日
2023年	3月21日	3月29日	9日
2024年	3月30日	4月8日	10日
2025年	3月30日	4月9日	11日

附近のサクラまつりで

付近の公園やサクラ並木の開花も3月26～28日でした。地域のサクラ祭りなどは今年も4月5, 6日に企画されていましたが丁度見頃の頃となりました。

今年も、No3 の観測木の満開時には、右の画像のように、カロリナジャスミンの開花も始まりました。両者共、芦屋市の市有地石垣の上の法面の植生ですので手入れはなされません。カロリナジャスミンの一部はサクラの枝にも絡んで来ていますので来年以降はどのようなになるのでしょうか。蔓性植物は強いですね。我が家のベランダから観察できる桜です。

ついでながら、この附近のソメイヨシノの開花の状況については・・・

＊夙川の河川敷公園のソメイヨシノの開花状況は、この附近と同様に4月26, 7日頃の開花、28日

夕刻に歩いた時には1～3分咲きでした。満開はこの辺りと同様4月5, 6日頃となったようです。

＊甲山森林公園前の太子道沿いの桜並木は4月1日に8分咲き程度、4月初旬の冷え込みが影響したのか4月8日で満開の状況でした。

＊一方、新三田附近の武庫川堤のソメイヨシノ並木は昨年度、4月4日にほぼ満開の状況でしたが、今年の4月3日時点では開花すら見られない状況でした。また、附近でカワズザクラの満開が見られるなどやはり六甲の裏・表の気象の違いを感じました。

4 . 八重ベニシダレ、

住居であるマンションの中庭には2020年に八重ベニシダレが、また、一昨年にはサトザクラ3本が植えられました。八重ベニシダレは植栽翌年の2021年から花を付け始めましたがまだシンボルツリーなどと言える程には育っていませんが、最も身近な桜なので開花の記録だけは取り始めています。この桜の画像を一応紹介し開花記録も並べておきます。植栽から6年目、まだまだシンボルツリーとまでは行きませんが無視もできない姿に育ってきました。

	開花日	満開日	開花期間
2021年	3月27日	3月31日	5日
2022年	3月26日	3月31日	6日
2023年	3月23日	3月27日	5日
2024年	3月26日	4月 1日	7日
2025年	3月30日	4月 5日	7日

一昨年このサクラの周囲3ヶ所にサトザクラ3本が植えられました。樹高だけは5mほどと高いのですが、今年もあまり蕾をつけていません。

花でも開けば、品種など同定したいと思っています。



5. 西宮市オリジナルのザクラ

夙川公園を歩いていると、右の様な看板が見られます。

＊北山緑化植物園内にある・西宮市植物生産研究センターが、植物バイオ技術を使って増殖・生産したザクラ。

・西宮権現平桜 — 笹部博士ゆかりのザクラ —

「西宮市にゆかりのある桜博士・故・笹部新太郎氏が「日本一の山桜」と絶賛した和歌山県熊野神社の参道にあった権現平桜に由来する苗を西宮市が譲り受け、バイオ技術で増殖したザクラ。特徴は・・・ヤマザクラ系で、一重の白い花をつける。成長が早く、潮風にも強い品種。

・夙川舞桜 — 風土が生んだザクラ —

夙川周辺に植栽されているいろいろなザクラの中から、自然交配によってできた西宮生まれの桜。

平成 11 年に確認され市民の皆様の投票により「夙川舞桜」となづけられた。

特徴は、・・・ヤマザクラ系で、花は半八重～八重咲きです。・花色は、咲き始めは

淡い紅色で、のちに白色に変わります。・・・と記述されています。開花は前者の方が遅い。



西宮権現平桜 4月7日



夙川舞桜 4月3日

6. 甲山森林公園のヤマザクラ.

ザクラの記録が続いて恐縮ですが、本報シリーズは当初からお断りしていますように私自身の忘備録、構想をたてて纏めるなど全く考えず気の向くままに書き下して来ています。

街中の桜は多かれ少なかれ所詮人によって管理されたザクラです。その点、六甲山麓の林野のヤマザクラ群などは殆んど手入れされていない自然な生き様を見せてくれます。この附近からも、開花期には山腹に点々とその存在のシグナルを送ってくれるのですが、矢張り近寄って観たいが人情。好奇心かな？

幸い、所属の MNC ではここ 10 数年間、甲山森林公園の森を舞台に「展葉調査」が続けられて来いますので、お誘いに応じてヤマザクラの開花期を狙ってエントリーしています。・・・調査半分、もっぱらヤマザクラや自生の多いコバノミツバツツジやヤブツバキなどの開花を楽しんでいます。

以下、ヤマザクラの4月8日の画像の一部です。 なお5月度の観察会・基礎講座はここが舞台です。



7. モクレン科の花々

桜と共に、或いは通常は桜の開花に先駆けてと言った方が良いでしょう。モクレンやコブシなどの開花は春の訪れをいち早く知らせてくれる花です。桜とは異なり、ほぼ一斉開花、花も大型なので良く目立ちます。でも、今年の開花は異常でした。これは先報の3月の気温の経緯を見て頂ければ分かると思います。中旬までの寒気から下旬には季節外れの暖かさとなり、この間に満を持していたモクレン科の花が一斉に開花、2、3日で姿を消す種さえある状況でした。モクレン、ハクモクレン、コブシ、シデコブシなどは皆さも目にされたことでしょう。このモクレン科（マグノリア）の樹木は世界では90種以上もあると言われ、オガタマノキ、カラタネオガタマ、タイサンボク、ユリノキ、ハウノキなど身近に見られる種も多くあります。何れも大型や芳香をもつ花をつけ、世界の三大花木と言われています。

また、最近ではアメリカやニュージーランドなどを中心に多くの園芸品種も創出されているようで、この辺りでも従来種とは花期が違い遅咲き。樹高が低い。花色の多様化など品種不明の園芸種品種をよく見かけます。上記以外であまり見かけられないであろうと思う3種ほど紹介しておきます。

＊ミヤマガンショウ：中国産の常緑性のモクレン。花期は在来種と同じ。

＊サラサモクレン：モクレンとハクモクレンの交配種と言われる。花被片の外側紅紫色、内側白。

＊ガール・マグノリア・・・アメリカで創出された園芸種。花色は多種多様。低木の割に花は大きい。

通常、アン、ジュディ、ジェーン、スザン、ベティ など女性名が冠にされている。



ミヤマガンショウ (3/23)

ニシキモクレン (4/12)

マグノリア・アン (4/12)

8. 最近附近で見られた花

下の画像は最近附近や近くの山裾で見かけた花々です。多分、皆さまも目にしておられるでしょう。それぞれの説明は不要でしょう。種名を考えてみて下さい。

同じ科の樹木ですが・・・上下は属が違います。左右は近縁です。

本報はこれまで、

